

**都立小石川高校が
中高一貫6年制の中等教育学校になります**

1 いつ、開校しますか？

平成18年4月に開校します。

2 どこに、開校しますか？

現在の都立小石川高校と同じ場所に開校します。校舎も都立小石川高校と同じです。

3 中等教育学校って、どんな学校ですか？

今の中学1年生から今の高校3年生までの6年間で、一つの学校で一貫した教育を行います。高校入試をしないで、6年間一貫した教育を受けることができます。

4 どんな中等教育学校になるのですか？

中等教育学校の「学校像」「育てたい生徒像」「教育理念・教育目標」は、次のとおりです。

(1) 学校像

- ① 6年間一貫して体系的な教養教育を行う学校
- ② 生徒が相互に磨き合い、人間力を高める学校
- ③ 生徒が希望する進路の実現を目指す学校
- ④ 高い教育水準の維持・向上に努める学校
- ⑤ 各界のパイオニアの育成を目指す学校

(2) 育てたい生徒像

- ① 現状に満足せず、高い志をもち自らの能力と個性を自ら開拓する生徒
- ② 国際社会に生きる日本人として、豊かな教養と感性を身につけた生徒
- ③ 自然科学など様々な場面・分野で活躍できるリーダーを目指す志の高い生徒

(3) 教育理念・教育目標

「立志・開拓・創作」 自ら志を立て（立志）、自分が進む道を自ら切り拓き（開拓）、新しい文化を創り出す（創作）

都立小石川高校の建学以来の精神を継承し、自然科学をはじめとする各分野において、日本はもとより世界で活躍できる豊かな教養と優れた語学力を身につけ、高い志をもつ使命感に溢れた生徒を育成する。在校中はもとより卒業後も人生に果敢に挑戦していく生徒を育成する。

(4) 学校の規模

1学年が4学級の160名です。6学年の合計学級が24学級で、全生徒が960名になります。

(5) 中等教育学校と小石川高校の年度別の生徒募集予定学級数（1学級＝40人）

| | | | | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
|-------------|----|----------------------------|----|------|------|------|------|------|------|------|
| 中 学 校 | 1年 | 中 等 教 育 学 校 | 1年 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 2年 | | 2年 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | 3年 | | 3年 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 高 校 | 1年 | 中 等 教 育 学 校 | 4年 | 8 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 2年 | | 5年 | 8 | 8 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 3年 | | 6年 | 8 | 8 | 8 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 学校の規模 | | | | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 |

第3章 文京地区中高一貫6年制学校の教育課程

文京地区中高一貫6年制学校の教育課程の編成に当たっては、「中高一貫教育校の整備に関する検討委員会報告書」に示された教養教育についての考え方及び第2章に示した教育理念を踏まえ、中等教育学校として、以下の特性を考慮した。

- ① 6年間の体系的な教育課程を編成し、すべての教科で基礎・基本の徹底を図るとともに、発達段階や習熟の程度に配慮しながら、補充的な学習と発展的な学習を積極的に行う。
- ② 6年間で確かな学力と体力の充実を図り、豊かな感性を磨き、総合的な人間力を養うための教育課程を編成する。
- ③ 生徒の個性・能力の伸張や学習意欲を高めるために自然科学をはじめとする各分野で、最先端の学問等に触れる体験など、多様な教育機会を設ける。
- ④ 生徒の主体性や創造性、社会性、リーダーシップ等を養うために、6年間の計画的・継続的な異年齢集団等による特別活動を実施する。
- ⑤ 国際化に対応する確かな英語力を養うために、外国人講師の活用や海外での語学研修の実施など、6年間で3期に分けた教育課程を編成する。

1. 教育課程編成の基本方針

(1) 確かな学力をはぐくむ教養教育の展開

- ① 教養教育として教科学習を充実させ、基礎学力を確実に定着させることにより、確かな学力をはぐくむ。
- ② 生徒一人一人の習熟の程度に応じて、補充的な学習と発展的な学習を展開する。
- ③ きめ細かな学習指導により、計画的な家庭学習を定着させ、学習習慣の確立を図る。
- ④ 大学や研究所、企業等の施設や人材等を有効に活用し、多様な学習機会を設定する。

(2) 進路を実現するための積極的な展開

- ① 大学や研究所、企業等と連携して最先端の学問・芸術等に触れる学習や社会体験を取り入れるなど、進路指導を計画的・継続的に展開し、社会に貢献しようとする高い志と使命感を育成する。
- ② 教育相談を充実させ、生徒一人一人の可能性や適性の把握に十分に努め、生徒が希望する進路の実現を果たすことができる進路指導を行う。
- ③ 将来の自己を見据え、目的意識をもって大学に進学ができるよう、6年間の計画的・継続的な進路指導を行う。

(3) 世界的視野をもつ生徒の育成

- ① 国際社会に貢献しようとする志と使命感を育成するために、大学や国際機関等の教育力を活用し、国際社会における在り方生き方を主体的に考えさせる。
- ② 国際社会に生きる日本人としてのアイデンティティをはぐくむために、「日本文化論講読」

など、日本文化への理解を深め、世界の地理、歴史、哲学、芸術等の学習を行う。

- ③ 異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションができる英語力を育成するために、海外での語学研修等を行う。

(4) 総合的な人間力の向上

- ① 生徒の主体性や創造性、社会性、リーダーシップを身に付けさせるために、学校行事や委員会活動・部活動等を充実させる。
- ② 生徒の「生きる力」をはぐくむため、社会体験や自然体験などを通して豊かな心を培い、「知・徳・体」のバランスのとれた人間形成を図る。
- ③ 健康で豊かな学校生活を送り、生涯にわたって自らスポーツや文化・芸術に親しむ態度を育成するために、魅力ある学校行事を行う。
- ④ 道徳や学級活動・ホームルーム活動等を重視し、生徒相互の豊かな人間関係をはぐくみ、心の教育の充実を図る。

(5) 学習を充実させるための指導方法・形態の工夫

- ① 基礎・基本を徹底させ、リズムとアクセントのある学校生活を送らせるため、3学期制とし、1日7時間(45分)週34時間の授業を行う。
- ② 個に応じたきめ細かな指導を行うために、習熟の程度や学習の課題に応じた少人数授業等を行うとともに、コンピュータやLIS機器を活用した授業を展開する。
- ③ 学習意欲の高い生徒のための発展的な学習や、不得意科目克服・補充のための学習指導を積極的に展開する。
- ④ 生徒の授業に取り組む姿勢を自己評価させるとともに、生徒による授業評価を実施し、教員の指導力の向上と授業内容の充実を図る。

2 特色ある教育活動

(1) 理科好き、数学好きを育てる自然科学教育

- ① 実験や観察を中心にした自然科学教育を実施することにより、基礎知識を体験的に学ばせるとともに、科学の発展などとの関連を図りながら、科学的なものの見方・考え方を養う。
- ② 習熟の程度に応じた少人数授業等を行い、ゆっくり確実に基礎学力を積み重ね、数学好きな生徒を育てる学習指導の工夫を図る。さらに、発展的な学習を積極的に展開して、数学オリンピックに挑戦するなどの意欲ある生徒を育成する。
- ③ 自然科学の基礎知識をもとに、総合的・包括的なものの見方・考え方を身に付けさせるとともに、発明・発見の視点から科学史を探究したり、地域や東京の自然環境、地球の自然環境問題について研究したりする講座を設ける。
- ④ 理科や数学の学習内容を創意工夫し、生徒の発明・発見の意欲を醸成する。

- ⑤ 大学や研究所、企業等から最先端の学問を学び、専門家の助言を得ながら、指導内容の向上を図る。

(2) 「聞く・話す・読む・書く」の総合力を重視する英語教育

- ① 習熟の程度に応じた少人数授業等を行い、基礎・基本を徹底し、様々な分野の英文の精読、多読、速読等を通して、豊かな英語力を育成する。発達段階に応じて、新聞、雑誌、放送を活用し、政治、経済、文学、歴史等からテーマを決め、プレゼンテーションやディベートを発展的に学習する。
- ② 英語による日本文化の紹介や異なる文化をもつ人々との相互理解を図るなどのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を育成するために、サマーキャンプや海外での語学研修等を実施する。英語を通して、日本文化や日本人のものの見方・考え方について理解を深め、発表する。
- ③ 世界の大学への進学や留学を希望する生徒にも対応できるように、進学や留学のシステムを紹介するガイダンスや「TOEIC」をはじめとした講座内容の充実を図り、海外生活の準備も指導する。

(3) 確かな学力を発展させる特別選択講座

- ① 生徒の能力や適性、進路に応じた特別選択講座や学校設定教科・科目を設置し、補充的な学習と発展的な学習を展開する。
- 具体例； ○ 人工衛星などの力学を学ぶ（物理）
 ○ 映像による伝達効果を実践的に学習する（美術）
- ② 自然科学、文化、社会などの今日的課題について学び、生徒の興味・関心を深め、発展させる。
- 具体例； ○ バブル経済崩壊後の日本経済の様々な現象を見つめる（政治・経済）
 ○ 地質についてフィールドワークを中心に学習する（地学）
- ③ 将来の進路を見通した大学進学を実現させるために、生徒の希望に応じた多様な講座を設置し、個に応じたきめ細かな学習指導を展開する。
- 具体例； ○ 司馬遷『史記列伝』を通じて漢文の読解力、鑑賞力を養成する（国語）
 ○ 代数や幾何に関して深く確かな基礎知識の習得を目指す（数学）

(4) 知を深める総合学習

- ① 教育目標の「立志」（自ら志を立て）、「開拓」（自分が進む道を自ら切り拓く力をつけ）「創作」（新しい文化を創り出す）を「総合的な学習の時間」に位置づけ、発達段階に即して、学習が深まるような工夫を行い、「知の総合化」を目指す。

| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
|--------------|----|--------------|----|-----------|----|
| 「立志」 | | 「開拓」 | | 「創作」 | |
| 「基礎・基本のステージ」 | | 「応用・発展のステージ」 | | 「完成のステージ」 | |

② 教科との関連を一層図りながら教養教育を行い、探究心を高めるとともに、生涯にわたって学び続けるための高度な学習力を培う。

具体例： ○ 言語文化 ○ 自然科学 ○ 国際理解 ○ 自己の在り方生き方

③ 大学や研究所、企業等と連携し、我が国及び世界の最先端の学問を体験的に学ばせ、知的好奇心や探究心を深め、幅広い教養を身に付けさせる。

(5) 人間力をはぐくむ生活指導

① 学校行事や委員会活動・部活動等の豊かな体験を通して自主・自立の精神を養うとともに、学校に誇りをもつ生徒を育てる。学校行事においては、計画・立案・実施・評価などの生徒の主體的な活動の中で、最後までやり遂げる強い意志をはぐくむ。

② すべての教育活動を通じて、公共心を高め、社会に貢献する志やリーダーシップを育成する。特に、社会体験や道徳授業を重視し、社会や集団の一員としての自覚を高め、自己及び社会をじっくりと見つめ直す中で、公共心の高い生徒を育成する。

③ 海外での語学研修等の豊かな体験を通して、節度やマナーなどの規範意識や、自己管理能力をはぐくむとともに、日本人として他の国々の文化を尊重する態度を育て、国際社会における在り方生き方を学ぶ。

(6) 6年間の計画的・継続的な進路指導

① 6年間を見通した計画的・継続的な進路指導により、自己の能力・適性の理解を深めさせ、日本の大学はもとより、世界の大学をも視野に入れた進路実現を目指す。

② 大学や研究所、企業等の人材等を積極的に活用し、講演会や研究室訪問などを実施して、生徒に自己の将来像を明確にさせ、生徒の自己実現を図れるよう積極的な教育活動を展開する。

③ 放課後や土曜日、長期休業日に進路実現に向けた補習授業や特別講座等を実施する。

3 教科等の指導の展開

基礎・基本の確実な定着を図り、「確かな学力」を身に付けさせるとともに、豊かな教養と高い志をはぐくむことを通して人間力のある生徒を育成する。また、中等教育学校としての特色を活かすため、6年間を見通した指導計画を作成し、系統的な指導を行うとともに、補充的な学習と発展的な学習を積極的に取り入れた指導を展開する。

(1) 各教科における学習指導の展開

① 国語

「言語の教育」をすべての教科等の学習の基礎と位置づけ、「話す・聞く・書く・読む」の学習活動を通して、言語についての知識や技能、意欲や態度を高め、確かな国語の学力を育てる。

漢字や語句などの豊かな語彙力を育てるとともに、現代文や古典などの様々な文章を読むことの基礎となる確かな読解力を育てる。さらに、他教科の学習にも活用できるように、作文や小論文を書く力を育てるとともに、スピーチやプレゼンテーションなどの音声言語能力の育成

* 6年間を通じた特色ある教育活動の例

| | 特色ある選択教科・科目等 | 総合的な学習の時間 | 進路指導 (在り方生き方) | 道徳・生活指導等 (自主・自立) | 学校行事 |
|----|--|--|---|---|--|
| 1年 | ・生命科学基礎実習 | 立志 中等教育学校の初期段階において、小学校段階での学習を踏まえ、自然科学や言語文化の分野での探究心を培うことを通して、自ら課題を発見し、課題解決のための手段や方法を学ぶなどの課題解決を図ろうとする能力・態度を身に付ける。 ・言語文化 ・自然科学 | ・自分の生活する地域社会について理解するとともに、その視点から自分を見つめる。 ・学校について知ることを通して、帰属感を養う。 ・地域について知ることを通して、社会に生きる人々やその様子を知る。 | ・望ましい生活習慣を身に付け、節度と調和のある生活を送る。 ・法やまじりの意識を理解し、社会の秩序と規律を学ぶ。 ・さまざまな個性や立場を尊重し、友情の尊さを理解することにより、望ましい人間関係をつくる。 ・社会と卒業生に学ぶ① | ・HR合宿 ・校外学習 ・芸術鑑賞 ・夏季部活動合同合宿 ・サマーキャンプ ・文化祭 ・体育祭 ・スキー教室 |
| 2年 | ・地球環境科学 | | ・日本社会について理解するとともに、その視点から自分を見つめる。 ・日本人の勤労観や職業観について考えることを通して、望ましい勤労観や職業観を養う。 | ・高い目標を持つことを通して、最後までやり抜く強い意志と自分の行動に責任をもつ姿勢・態度を身に付ける。 ・自他との関係で、礼儀や法の意義・大切さを学ぶ。 ・生命がかげがえのないものであることを理解する。 ・友情の尊さを理解し、望ましい人間関係を確立する。 ・社会と卒業生に学ぶ② | ・芸術鑑賞 ・自然体験① ・夏季部活動合同合宿 ・サマーキャンプ ・文化祭 ・体育祭 ・スキー教室 |
| 3年 | ・Ecology 入門 ・環境とエネルギー ・数学探検 ・メディア・リテラシー ・国語探究 ・英語検定対策講座 (上級・中級) ・Presentation in English ・弦楽器入門 ・生涯スポーツ | 開拓 中等教育学校の中期段階において、「立志」での主体的な学習を踏まえ、国際理解や日本語の分野での探究心を育てることを通して、ねばり強く課題解決を図る態度を育成するとともに、自己の興味・関心・能力・適性への理解を深め、キャリア・デザインに基づいた自己の将来像を描く。 ・国際理解 ・言語文化 ・自己の在り方生き方 (課題研究①) | ・国際社会のありようについて理解するとともに、その視点から自分を見つめる。 ・国際的視野で、雇用や職業の問題を考える。 ・自己の将来を考えるとともに、将来像を探る。 | ・自己を見つめ、自らの能力や個性を伸ばし、充実した生活を送ることにより、社会との関わりを意識する。 ・学校や学校の一員として協力することの意義を知り、役割や責任を自覚することからリーダーとしての意識を持つ。 ・社会と卒業生に学ぶ③ | ・芸術鑑賞 ・海外語学研修 ・夏季部活動合同合宿 ・サマーキャンプ ・文化祭 ・体育祭 ・スキー教室 |
| 4年 | ・化学の源流 ・整数の性質 ・英語検定対策講座 ・Presentation in English ・小論文とディベート ・古典入門 ・弦楽合奏 ・生涯スポーツ | | ・自己の将来を考えるとともに、将来像を設計する。 ・資料などに基づいて、自己の将来を模索するとともに、進路実現のための自覚を養う。 ・偏りのない学習をするなど、進路実現に向けての望ましい学習方法や工夫の仕方などについての理解を深める。 | ・生徒会、委員会活動を通して行動力、判断力等の実践力の伸長を促し、リーダーとしての意識を高める。 ・勤労の尊さやすばらしさを理解し、公共の福祉や社会貢献の意義を学ぶ。 | ・芸術鑑賞 ・自然体験② ・夏季部活動合同合宿 ・サマーキャンプ ・文化祭 ・体育祭 ・スキー教室 ・洋上研修 |
| 5年 | ・日本文化論講読 ・国際関係論 ・Academic Reading & Academic Writing ・英語検定対策講座 ・外国事情 ・アジア論概説 ・日本文学講読 ・家庭科課題研究 ・音楽アンサンブル ・生涯スポーツ | 創作 中等教育学校の完成段階において、「開拓」での学習を踏まえ、探究心を深めることを通して、中等教育学校の生活の完成に向けて、自己の能力・適性を一層伸長するとともに、体験的な学習などを通して、キャリア・デザインに基づいた自己の将来像を確立する。 ・国際理解 ・自己の在り方生き方 (課題研究②) | ・自己の興味や関心、能力や適性についての理解を深める。 ・自己の適性などや将来の進路を踏まえた選択科目等の決定をする。 | ・さまざまな異年齢集団活動を通してリーダーシップを発揮し、自らの役割や責任を自覚することで自主、自立の精神を確立していく。 | ・芸術鑑賞 ・海外研修旅行 ・夏季部活動合同合宿 ・サマーキャンプ ・文化祭 ・体育祭 ・スキー教室 |
| 6年 | ・Science English ・Academic Reading & Academic Writing ・英語検定対策講座 ・コンピュータ・リテラシー ・国際文化論講読 ・マルチメディア表現 ・映像美術理論 ・音楽理論 ・フードデザイン ・児童文化 ・生涯スポーツ | | ・将来像を一層明確にし、進路実現を図る。 ・進路希望に即した学習方法の具体的研究や実践などにより、進路実現を目指す。 | ・より良い校風を樹立するために、生徒同士が切磋琢磨し、リーダーシップを身に付ける。 ・広い視野から社会との関わりを意識し、よりよい社会実現のビジョンをもつ。 | ・芸術鑑賞 ・文化祭 ・体育祭 |

(注) 選択教科・科目等の名称は、すべて仮称である。